

第4次岩倉市子ども読書活動推進計画（案）に対する委員の意見と対応

番号	項目	意見の概要	対応
1	第1章 1 計画策定の趣旨と経緯	((P1) 1 計画策定の趣旨と経緯 4 段落目) 「第3次岩倉市子ども読書活動推進計画」期間の終了に伴い →令和〇年〇月策定の「第3次岩倉市子ども読書活動推進計画」の期間終了に伴い	修正しました。
2	第1章 1 計画策定の趣旨と経緯	((P1) 1 計画策定の趣旨と経緯 全体) 行間がばらばらなので統一をしたほうがよい。	修正しました。
3	第1章 2 第3次子ども読書活動推進計画期間中の取組と成果	((P4) 基本目標 2 子どもの読書環境の整備・充実 (1) 図書館サービスの充実) 「 <u>小さな文字を拡大することができる拡大読書器を設置し、調べ学習にも利用できるようにしました。</u> 」の下線はどのような意味合いがあるのか。	必要な下線ではないため取り外しました。
4	第2章 4 計画の期間	((P6) 4 計画の期間) 令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間とします。なお、必要に応じて計画の見直しを行います。 →令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。	修正しました。
5	第3章 基本目標 1	((P7) 【現状と課題】 4 段落目) 現代では読書離れや不読率の問題が懸念されるようになりました。 →近年では読書離れや不読率の問題が懸念されるようになりました。	修正しました。
6	第3章 基本目標 1	((P7) 【現状と課題】 5 段落目) 「図書館では、親子で～」の行間が他と比べて狭い	修正しました。
7	第3章 基本目標 1	((P8) 【現状と課題】 3～4 段落目) 行間が他と比べて狭い	修正しました。

8	第3章 基本目標1	(P9) (【取組】 7段落目) ○小学生の「施設見学」や中高生の「職業体験」の受け入れを積極的に行い、 →○小学生の「施設見学」や中高生の「職業体験」の受け入れを積極的に行い、	原案の内容が適切と考えますので、原案のとおりとさせていただきます。 (根拠：平成22年11月30日付け内閣訓令第1号「公用文における漢字使用等について」)
9	第3章 基本目標1	(P10) (【現状と課題】 2段落目) 赤ちゃんが生まれる前の親や保護者に語りかけ 育児や読み聞かせ →赤ちゃんが生まれる前の親や保護者に語りかけ、 育児や読み聞かせ	修正しました。
10	第3章 基本目標1	(P10)【現状と課題】 2段落目) 行間が他と比べて狭い	修正しました。
11	第3章 基本目標1	(P11)【現状と課題】 2段落目) 「より」という言葉はいらないのでは	削除しました。
12	第3章 基本目標1	(P11)【現状と課題】 1段落目) アイデアや経験を生かした～からの4行の行間が他と比べて狭い	修正しました。
13	第3章 基本目標1	(P12) (【現状と課題】 1段落目) 教育に必要な資料を収集し、整理し、保存し、及び保存し、は「保存し」が2つある	「教育に必要な資料を収集するとともに、整理及び保存し、」に修正しました。
14	第3章 基本目標1	(P15) (【取組】 1段落目) 5行目「教職員」の職に下線あり不要	修正しました。
15	第3章 基本目標1	(P15)【現状と課題】 1段落目) 5行目から5行分の行間が他と比べて狭い	修正しました。
16	第3章 基本目標1	(P17) (【取組】 1段落目) 「○子ども向けの行事案内の充実に努めます。」の前に「読書に関する」を加筆してはどうか。	加筆修正しました。
17	資料1	(表全体) 各頁の表の上部にタイトル(方策・取組内容・取組状況)があると読みやすい	修正しました。

18	資料1	(全体の表について) 取組内容の第4次における「継続」と「充実」の意味 合いは	「継続」は、第3次に実施した内容を引き続き行うこ とを目標としています。 「充実」は、第3次に実施した内容をさらに拡充して 行うことを目標としています。
19	資料1	((P21) (【取組内容】 2段目) 小学生の「施設見学」や中学生の「職業体験」の受入 れを積極的に行い →小学生の「施設見学」や中高生の「職業体験」の受 入れを積極的に行い	修正しました。
20	資料1	P24とP26、P27:取組状況の第1次・第2次・第3次の表 記をP20とそろえて一行にした方が読みやすい	修正しました。
21	資料2	((P28) (【児童図書の貸出状況】) 各年度の前に令和を付けたほうがよい	修正しました。
22	子ども読書活動推 進の全体の意見	アンケートの回答内容などから限られた予算内でインパクトのある本の情報、紹介がキーポイントだと思 います。 図書館関係者の方々の尽力で効果は出てるし、子どもたちの読書減少も抑えられていると思います。 限られた予算と人力の中での活動として1つの案として、児童館、小学校、中学校などそれぞれ数館を1つの 図書館、数校を1つの図書館と考え、本の種類を増やすためになるべく同じ本を何冊も購入せず(人気の本は 別)は連携で貸借する。 インパクトのある本の情報紹介として、テーマごとの本の集団(セット、冊数が多ければ多い程いい)をつ くり1か月ごとか2か月ごとの期間でそれぞれの館、学校でフェアを行い子供たちにインパクトを与える。興 味のないテーマでもテーマ数を多くすればどれかのテーマに興味を持つと思う。 テーマ例、〇〇作家シリーズフェア、動物フェア、スポーツフェア、外国の作家フェア、推理小説フェアと かジャンルを絞ればより、濃厚な本の紹介になるのではないかと思います。本がたくさんありすぎて、本に触 れない子ども(大人も)どれがいいのか、どれが読みたいのかもわからない場合があるような気がします。 テーマ別にフェアを行い、そのテーマ内の本の種類も豊富にすれば豊かな本の触れ合いになりそうに思 うのですが、フェアを学校ごと館ごとにサイクルして、全校全館の子供たちに提供できます。	